

# 特別支援教育実習(5月)



5月13日から5月26日までの10日間、静岡大学教育学部の学生9名が教育実習を行いました。昨年の2月にも特別支援教育実習として、1週間、本校で教育実習を行った学生たちです。2月ぶりの再会を子どもたちと喜ぶ姿も見られました。今回の実習では、どんな活動や教材が適しているのか考えながら、授業を2回行いました。それぞれの学部での実習の様子を紹介します♪

## 小学部

1組「はさみをつかって  
とこやさんになろう」

いらっしやいませ～

床屋さんになって、髪の毛に見立てた毛糸や紙をはさみで切りました。



2組「『そらまめくんのぼくのいちにち』をきこう」

お話を聞いて内容を整理したり、そらまめくんの行動を言葉で表現したりしました。



3組「文を作ろう  
～〇〇が△△～」

イラストを見て、「ピアノをひく」「ほんをよむ」などの文を作りました。



## 中学部

国語・数学では、実習生の話に耳を傾け、楽しく学習に取り組む姿が見られました。運動会当日も、実習生の応援を受けて、練習以上に力を発揮することができました。

最終日には、クラスごとに生徒が考えたレクリエーションに取り組み、楽しい時間を過ごしました。どの教室でも「ありがとう!」と温かい言葉が飛び交っていました。

授業の様子



楽しかった!



ありがとう!

最終日

## 高等部

数学では、付箋1枚を1分とし、実際にかかる時間を計測して付箋を操作しながら時間の感覚を磨いたり、筆算を使って、目的の時刻を求めたりしました。

保健体育では、運動会の団体種目で、チームで作戦を考え、タイムを縮めることができました。

合計3週間の実習で、お互いのことを知り、たくさん話し、関わりをもつことができました。

